



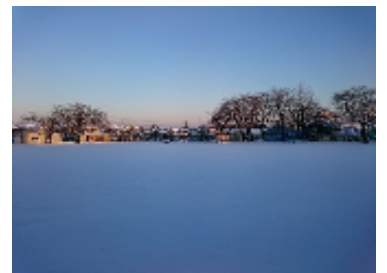
# 若木



## 大雪から気付かされたこと

校長 五十嵐 俊子

一週間前の大雪の翌朝、午前5時過ぎのことです。交通機関の乱れを覚悟していつもより早く家を出ました。ざくざくと雪をかき分けて駅まで歩く覚悟でした。しかし驚いたことに、もうすでに、やっと人が通れる位の細い一本道ができていたのです。雪のやんだ夜中から未明にかけて、どなたかがそっと雪をかいてくれたのでしょうか。見えないところで、知らない間に、人が歩きやすいような道を作ってくれる人がいることに、心が温かくなりました。電車も当たり前のように動いていましたが、きっと夜通しの除雪作業があったに違いありません。玉川学園前駅から学校に続く階段や道も、同じように人が歩けるようになっていました。早朝から雪をかいてくださった人のおかげで、通勤中の多くの方が助かりました。寒さの中にも人の温かさを感じた大雪の翌朝です。



地域のみなさまのありがたさも感じました。大変な思いをして通学路の雪をかいてくださったおかげで、児童が安全に登下校することができました。教職員が総出で雪かきしたことに、ねぎらいのお電話までいただきました。ありがとうございます。



先週は、昼間の太陽の陽射しで溶けかけた雪が、朝晩の厳しい冷え込みで再び凍ってしまう状態が続いていました。校庭もなかなか通常通りに使うことができませんでした。すると、先週末の日曜日には、校庭を使っているスポーツ団体のみなさんが、校庭の雪（氷）かきを申し出てくださいました。温かな輪が広がっていることを、とてもありがたく思います。ふだんは当たり前に行っている毎日の生活が、多くの人々の力と自然の恵みで成り立っていることに改めて気付かされた大雪です。

子供たちにとっては、大雪で楽しい体験がたくさんできました。いつもとは違う白い世界になった校庭で、ふかふかの雪にふれ、思う存分に遊びました。同時に、各学級で担任から、雪の日の安全な歩き方や、通学路の雪かきなど見えないところで自分たちの安全を支えてくださっている方がたくさんいる話をしました。これからも、あらゆる機会を通して、子供たちに、安全への意識を高め、命を大切に作る心とまわりへの感謝の心を育んでいきたいと思ひます。

本日も夜から雪の予報が出ています。前回ほどの大雪にはならないと思ひますが、明日の朝は気をつけて登校をするようにご配慮をお願いいたします。



毎朝校長室の前で、明るい挨拶と同時に、冬の発見を届けてくれる子供たちです。校長室前の池が連続3日間も凍ったこと、自然の中でいろいろな形の氷ができること・・・溶けないように大事に氷を届けてくれる優しい子もいます。楽しい朝のひとつです。

いつでもどこでも指示がなくても、自分の身は自分で守れるように、従来の方式の避難訓練を改め、予告なしの非常時訓練を行っています。昨日は掃除時間に行いました。緊急地震速報ですばやく安全な場所で安全姿勢を取ります。放送を聞きながら、その場で自分の行動を振り返りました。



「よく見て、よく聞いて、考えて行動する」←町五小の合言葉です。